

急に気温がさがって秋らしくなりました。活動が目白押しの季節、動きやすい爽やかな季節、どうぞご参加ください。

**お知らせ**

- ・イラストから観るアメニティ 2000 協会の歩み～長瀬信博イラスト作品展 10月8日(土)～14日(金) 六甲山荘
- ・ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク全国大会 10月23日(日) 東京・明治学院
- ・てづくり工房ほりだし市 11月3日(木・祝) 草志舎
- ・ヴォーリズ六甲山荘一般公開最終日 11月20日(日)
- ・東日本大震災被災者支援コンサート 11月23日(水・祝) カトリック夙川教会
- ・ヴォーリズ六甲山荘大掃除&石窯ピザの会 11月25日(金)
- ・歴史的建築物研究会再調査 12月3日(土) 芦屋市
- ・町並み研究会～和歌山 12月11日(日)～12日(月) 天神崎ほか

**予告1****イラストから観るアメニティ 2000 協会の歩み～長瀬信博イラスト作品展**

当協会のコンサートのプログラムや冊子の表紙で出会う滋味のあるイラストにお気づきですね。これらは会員で建築家でもある長瀬信博さんの作品です。創立メンバーでもある長瀬さんが10年にわたってアメニティ 2000 協会のために描かれた作品を中心に、スケッチなどを一堂に集める展示会を企画しました。「ながせワールド」をご覧にぜひおいでください。協会のロゴも彼の作品です。あのロゴには二つの意味があるのですが、それは何でしょう？

**日時** 2011年10月8日(土)～14日(金) 午前11時～午後4時 (8日は午後3時まで)

**場所** ヴォーリズ六甲山荘 **入場料** 500円

**\*オープニング・コンサート\*** 10月8日(土) 午後3時より 参加費 1,500円

出演：畑儀文(テノール)、春木浩子(ハープ)

☆コンサートのあと長瀬さんもまじえてティー・パーティーをいたします。

**<東日本大震災支援活動>****てづくり工房ほりだし市**

**日時** 2011年11月3日(木・祝) **場所** 草志舎

会場には会員の手作り品や有機農家会員の生産品、協会の趣旨に賛同するグループの作品などが並びます。あたたかい雰囲気の良いほりだし市です。おいしいお昼ごはん、喫茶も用意いたします。

また今回は東日本大震災の被災者支援として被災地の物産を販売します。

大勢の方に来ていただけるよう、お知り合いにお声をおかけください。

**出品のお願い**

皆さんの出品、準備と当日のスタッフを募集しています。応募いただける方は先月にお送りした用紙、あるいはメールでお知らせください。

- ・てづくり品・・・こもの、カード、絵はがき、などなど
- ・食品・・・総菜、ケーキ、パンなど
- ・不要なアクセサリ、ブランドバッグ・・・リサイクルします

沢山の品物が集まりますよう、お待ちしております。

**東日本大震災被災者支援コンサート**

支援コンサートの第二弾はゴスペル歌手の森祐理さんをお迎えして開催します。森さんは阪神淡路大震災で弟さんを亡くされており、国内外の被災地を訪問しては人々をはげますコンサートを開いておられます。すでに東北地区にも何度も足を運んでおられますが、今回は当協会のコンサートに出演していただきます。このアメニティ便りと一緒にチラシとチケットをお送りいたします。どうぞお知り合いをお誘いの上、大勢のご参加お待ちしております。

**日時** 2011年11月23日(水・祝) 午後2時開演

**場所** カトリック夙川教会

**参加費** 2,000円



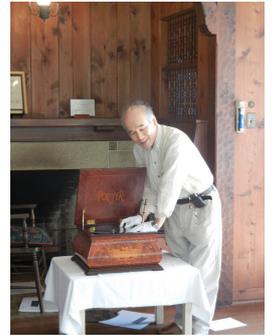
## ご報告1

園遊会・秋 9月23日(金・祝) ヴォーリズ六甲山荘

今回は工藤正登さんのオルゴール演奏を楽しみました。六甲山荘の木の空間にオルゴールの澄んだ音色が響いて、心にもひびきました。石窯ピザもおいしく焼けて、庭にもテーブルを出し、和やかなひと時を楽しんでいただきました。また今治市で英語教師をしておられる英国人女性のハンナさんがアメニティ2000協会の活動を知って、はるばる参加してくださいました。

スタッフの皆さんありがとうございました。

参加者 42名



## 【コラム】

### TONYの石窯ピザ奮闘記

谷本 雅憲(窯焼き職人 TONY)

昨年の初夏、六甲山荘の庭の北側奥まったところに石窯が出来ました。その後、何回かアメニティのイベントの際に石窯によるピザ焼きが行われていますので既にご賞味頂いている方も多いかと思います。目指すピザは、美味しいナポリ風ピッツァ(外側はパリッと、中はふんわり、もちり)。高い目標を掲げ、『真のナポリピッツァ協会・日本支部』のレシピを取り寄せ研究を開始しました。ピザの生地作りはMaria(森田和子)さんが担当、窯焼きはTONYが担当することになりました。

.....生地作りのご苦労話は別稿に譲るとして、今回は窯焼きの話です。石窯ピザを焼くポイントは、①窯の炉内の温度を400℃以上に保つこと

②薪は出来るだけ煙・匂いの無いものを使用すること

③焼き時間は窯に入れて1分半~2分半とすること

窯の温度を400℃~450℃にするために、ピザ焼き開始の2時間前には火を起こし、ひたすら薪を燃やし続ける。この窯の温度を400℃以上にするのが一苦労です。

今年第一回目の春先には石窯の炉床に水(雪解け水か雨水)が入り込み、いくら薪を放り込んでも温度は上らず。ピザ予約の来場者の中には待ちくたびれて一部の方は帰ってしまいました。午後1時を過ぎても状況は変わらず、急遽厨房の電気オーブンを使って提供。コーヒーをサービスしたり、何とか来場者には対応して頂いたのですが、第一回は大失敗に終わりました。

いかに窯の温度を400℃以上に上げるか。またその温度をどうやって維持するか。窯の温度が低すぎると、表面のチーズはいつまで経っても溶けず、裏もパリッと仕上がらずしんなり蒸し焼き状態。(まるで、ホットケーキが御座候状態)窯の温度が高すぎると、上のチーズが未だ溶け切らないうちに底が真っ黒に焼け焦げる。なかなか難しいものです。焼き時間は、その日の天候、気温、湿度が微妙に影響します。生地を窯に入れて1分半~2分半で仕上がるのが理想です。炉内の火加減を見ながら途中前後を回転させたり、パーラー(窯の中のピザを移動させる道具)を使って少し持ち上げたり、火の通り具合を調整します。

これまでの失敗例で学んだこととして、イベントのある日は必ず前日に窯に火入れをして炉内を乾燥させておくこと。そうすれば、当日10時頃からの火入れでお昼時にはちょうど良い焼き上げ温度になります。8月の親子絵画教室、園遊会(宮沢賢治の詩の朗読会)、9月の園遊会(オルゴール鑑賞会)には、前日に2~3時間窯に火入れをして準備。(3回とも清水理事長に準備して頂きました。...謝!謝!)お蔭様でイベント当日は12時前には充分窯の温度が上昇、ピザの焼き上がり時間も2分~2分半と理想的な状態に出来ました。今年前半の失敗を教訓に、今後はそこそこ満足して頂ける「六甲山荘ピザ」が提供できるのではないかと考えています。

TONYも琴奨菊に負けず「万理一空」の境地を目指し精進いたしますので、皆さまの暖かいご支援を宜しくお願い致します。



## 予告2

### 町並み研究会~~和歌山

3月に予定していながら震災の影響で延期した和歌山への一泊旅行を12月に実施します。日本のナショナル・トラスト運動の草分けである天神崎を中心に、醤油発祥の地湯浅(伝統的建造物群保存地区)、漆器の町黒江などを訪問します。暮れの忙しくなる前に和歌山でのひと時を楽しんでみませんか。詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

月日 12月11日(日)~12日(月) 宿泊 白浜・梅樽のホテルシーモア

訪問先 天神崎、南方熊楠記念館、湯浅、黒江

参加費 会員27,000円 一般32,000円

著者が文化庁長官の職にあった、2002年から2003年にかけて雑誌のコラムに連載されたものをまとめたものであり、少々古い本の紹介で恐縮ですが、この中に今も心に残る言葉があります。それは「心波交信」。河合さんの新造語で勿論「電波交信」をもじったものです。IT（電波）の威力によって瞬時にあちこちと交信でき、世界の情勢もすぐわかる現代ですが、電波によって世界中のあちこちと交信はできても、身近な人との「心波交信」、すなわち心と心が「通じる」という回路は閉じられてはいないか。電波交信のための機械操作に熱中していると心波まで操作できるように錯覚し、その結果心の心波回路は閉じられ、誰ともつながらない孤独に追い込まれてゆくのではないかと河合さんは憂います。インターネットでの交信によって知り合った人たちが集団で自殺をしてしまう。自分の日常生活を24時間インターネットで発信し、それを見ている不特定多数の人と交信し合う。この人たちはインターネットを通じてお互いの心が本当に通じたと感じているのでしょうか？最近話題になった「無縁社会」という言葉とも重なって、現代に生きる難しさや寂しさを痛感します。

心が「通じる」ためにはやはり努力と工夫が必要だが、その根本は「操作する」ことの反対であり、相手をどう利用するか、どう役立てるかではなく、ともかく、そこに共にいることがうれしいということ。発信も受信も自然におこなわれるのが「心波交信」の基礎にある。と河合さんは締めくくっています。「心」と言う言葉を安売りしたくはありませんが、心が窮屈になった時は、この「心波交信」のことを思い出します。

他のコラムも、今読み返しても全然古くなく、心が窮屈になりがちな現代日本人への温かいメッセージが綴られています。（朝日新聞社刊）

＜次回は谷平理恵子さんをお願いします＞

**ご案内**

**ヴォーリス建築文化全国ネットワーク全国大会**

私たちが会員であるヴォーリス建築文化全国ネットワークの総会が次のように開催されます。参加ご希望の方は日を指定のうえ10月13日（木）までにアメニティ2000協会事務局へお申し込みください。

- 日時 ・1日目 10月23日（日） 明治学院大学白金キャンパス
- 10:00 総会
  - 13:30 基調講演「建築保存における記憶と想像力」  
講師・鈴木博之（青山学院大学教授）
  - 14:30 明治学院礼拝堂見学
  - 15:15 事例報告「ヴォーリス建築を次世代に継承するために」
    - ・ 明治学院礼拝堂
    - ・ 旧八幡郵便局舎
    - ・ 川上幼稚園
    - ・ 駒井家住宅
- ・2日目 見学会 旧松方邸、旧朝吹邸
- 参加費 1日目 1,000円 昼食 1,000円 2日目 500円

◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

**第8回園遊会 at ヴォーリス六甲山荘**

北野 久美子

この日は「宮沢賢治の世界」を賢治と同じ岩手県に生まれ、高校・大学も同じ学校出身という菅原哲夫さんの朗読と飯田むつみさんのフランスシターとのコラボです。菅原さんの岩手弁による朗読は懐かしい郷愁を感じさせる語り口で、心がほっと落ち着きました。飯田さんはフランスシターとキーボード・打楽器を使つての朗読とのコラボとソロ演奏でした。「旅愁」「埴生の宿」「ふるさと」など美しい響きの演奏で、静かな山荘が祈りにも似た空気で満たされました。

「雨ニモマケズ」は賢治が自分から発表したのではなく、遺品の手帳から弟が偶然に見つけたもので、他人を励ますというより、自分の弱さを知る賢治がこうありたいという自分の願望を書いた詩だということです。最後の「ソウイウ者ニ私ハナリタイ」という言葉に納得できます。「こんな

のがざしきぼっこです。」という言葉で終るざしき童子の詩も楽しかったです。

最後の花巻農学校精神歌は、出だしの「日は君臨し・・・」を聞いてスケールの大きな詩だなと感じました。出てくる地名は唯一「太陽系」という雄大さで賢治の心意気が伝わってきます。曲もつけられて農学校の行事で歌われたそうです。

この日私は初めてスタッフとしてのお手伝いもさせていただきました。勝手がわからず色々教えて頂きながらでした。お茶と手作りケーキ、そして昼食の石窯ピザ&サンドイッチもおいしく頂きました。楽しい催しに参加させて頂きましてありがとうございます。



### 六甲山荘だより

9月の最初の土曜日は台風襲来のため山荘は休館にしました。そのあと山の上は秋の風情が濃くなり、今は白のミズヒキが満開です。グループの方あり、ランチを召し上がる方あり、それぞれに秋を楽しんでおられます。

また建物や敷地を整備するメンテナンス班も活躍してくれました。雑木の間引き、剪定、呼び鈴修繕、台所食器棚の棚板補強、スタッフ室床貼り・・・いずれも山荘の維持管理に欠かせないことばかりです。皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

\* 今年の公開は**11月20日(日)を最終日**とします。25日(金)に大掃除と打ち上げを行います。詳細はおってご案内いたします。



### **\* アイルランド旅行記 \***

2010年に訪れたアイルランドの旅行記の小冊子を参加者の稲葉元子さんが作製されました。たくさんのおすてきな写真と楽しい文章でつづられ、もう一度アイルランドを訪ねているようです。ご希望の方にはお頒けいたしますので(800円)ご連絡ください。

### **♪六甲山荘でLPレコードを!♪**

以前にお知らせしましたが、クラシック音楽のLPレコードをたくさんご寄付いただきました。それを聴くためのアンプ、プレーヤーも前田豊稔さんのご努力で揃い、ようやく山荘で聴くことができるようになりました。ぜひ演奏会をしたいものですね!



六甲山荘から見る夕日



庭での昼食(園遊会)